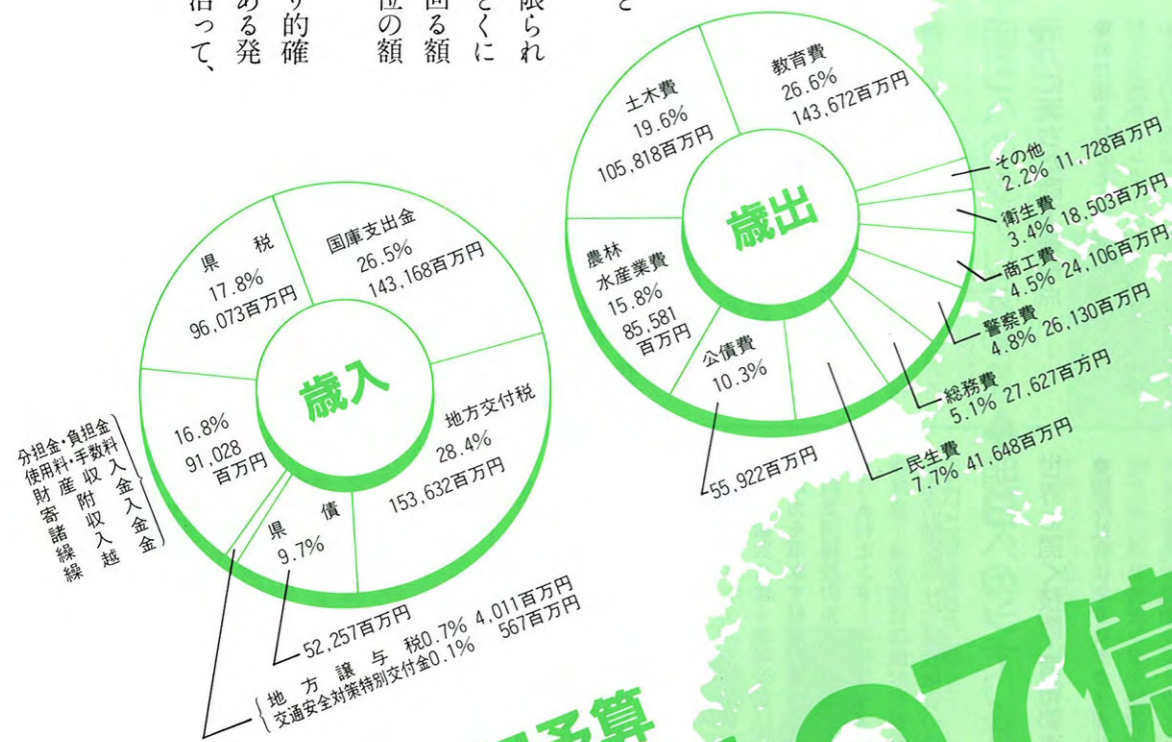


「熊本・明日へのシナリオ」展開の年!

昭和六十一年度は、昨年度スタートした「熊本・明日へのシナリオ」展開の年。足もとをしっかりと固めながら、各施策を着実に実行に移していく年です。県下各地域で広がりを見せている日本一づくり運動。これらの動きを更に確かなものにし、活力ある県土づくりをめざして、今年度の予算は編成されました。二十一世紀に向かって、活力と個性ある潤いに満ちた「くまもと」実現のため、県民の皆様のおご理解とご協力をお願いします。

しっかりと根をはって、より大きな明日へ

熊本県の昭和六十一年度当初予算が、県議会にて議決され、成立しました。予算総額は五千四百七億円で、前年度の当初予算に対して四・九%の伸び、二百五十二億円の増加となっています。今年度も、県税の伸びがほとんど見込めないほか、昨年度にも増して大幅な国庫補助負担率の引き下げが実施されるなど、実に厳しいものになっています。このような財政状況にはありますが、限られた財源の効率的・重点的な配分に努め、とくに公共事業については昨年度当初予算を上回る額を計上し、県単公共事業では九州第一位の額を確保しています。多様化し増大する行政需要にできる限りの確かつ機動的に対処しながら、県勢の均衡ある発展を図るために、シナリオの七つの柱に沿って、質的に充実するよう配慮しています。



昭和61年度当初予算
● 合計総予算 **5,407億円**